

外国の山草と園芸種のエリアではエーデルワイスをはじめとするさまざまな外国の植物を見ることができます。



エーデルワイス

# 箱根湿生花園の花だより

2018年6月1日発行

過ごしやすい天気が続き、園内の緑もいっそう深まってきました。梅雨入りも間近ですが、うっとうしい気分を晴らしてくれるような清楚な花々が咲き始めています。



## Pick Up ハマナス 「浜梨」バラ科

ハマナスは北海道、本州（太平洋側では茨城県以北、日本海側では島根県以北）の海岸砂地に生える落葉低木です。5月下旬になると、枝先に直径5～8㍉の紅紫色の花を1～3個つけます。花には芳香があり、香水の原料に使われています。また、ハマナスは強健で耐寒性に優れていることから、園芸バラの作出に非常に重要な役割を果たしました。ハマナスの交配系統はハイブリッド・ルゴーサ系統と呼ばれドイツやオランダなど寒い地域の交差点や街路によく植栽されています。ハマナスは花だけでなく、果実も楽しめる植物で、秋には真っ赤な実をたわわに付けひと際目を引きまします。この実はビタミンCが豊富で、生食やジャムとして利用されています。



イワギリソウ

「岩桐草」(イワタバコ科)

本州(近畿地方以西)～九州の溪谷の岩壁に生える多年草。名前の由来は、花や葉がキリに似て、岩上に生えることから。



ヤマボウシ 「山法師」(ミズキ科)

本州～九州の山地の林内や草原に生える落葉高木。箱根には大木が多く、ヤマボウシの名所として知られている。

## File 4 ハンノキハムシ コウチュウ目ハムシ科

仙石原周辺では湿原を好むハンノキが多く自生しています。園内でハンノキを見つけたら、ハンノキハムシを探してみましよう。体長は6～7mmほどで小さいですが、身体全体がメタリックブルーに輝いているので大変目立ちます。葉を主食とするハムシという虫の仲間、本種はその名の通り幼虫期も成虫期もハンノキを食べて暮らしています。ひっそりと暮らす湿原の小さな宝石たちを見つけてみてください。



## Botanical Gallery



エゾキスゲ

北海道、南千島の砂丘や海岸の草地に生える多年草。花は夕方開き、翌日の午後まで咲く。



センジュガンピ

本州(中部以北)の山地に生える多年草。名前の由来は、花が中国産のガンピに似て、日光の千手ガ浜で発見されたことから。



ウツギ

北海道～九州の山野に生える落葉低木。名前の由来は、卯月(旧暦の4月)に花が咲くことから。



オカタツナミソウ

本州～四国の丘陵の林縁に生える多年草。名前の由来は、花を波頭にたとえ、丘に生えることから。



シナノナデシコ

本州(中部地方)の山地の河原や荒地に生える多年草。花びらの縁には、細かなキザミがある。



フナバラソウ

北海道～九州の山地の草原に生える多年草。名前の由来は、袋果の形が舟腹に似ることから。



ススキ草原区では、明るく草丈の低い草地を好む小型の植物を育成するため、当園職員が手作業で草刈りをしています。現在、明るい草原を好むフナバラソウやクサタチバナなど可愛い花々を見ることができます。また、カンボクやウツギなどの低木も咲いています。

## ご利用案内

通常営業 9:00～17:00(最終入園 16:30)  
大人(中学生以上) 700円 小人(小学生) 400円

## アクセス

小田原駅または、箱根湯本駅より箱根登山バス(湖尻・桃源台行)“仙石案内所前”下車、徒歩8分。強羅駅より箱根登山バス(湿生花園行)終点下車。東名高速道路・御殿場ICより、車で20分。

Hakone Botanical Garden of Wetlands

はこね湿生花園

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

<http://hakonekanko.com/>